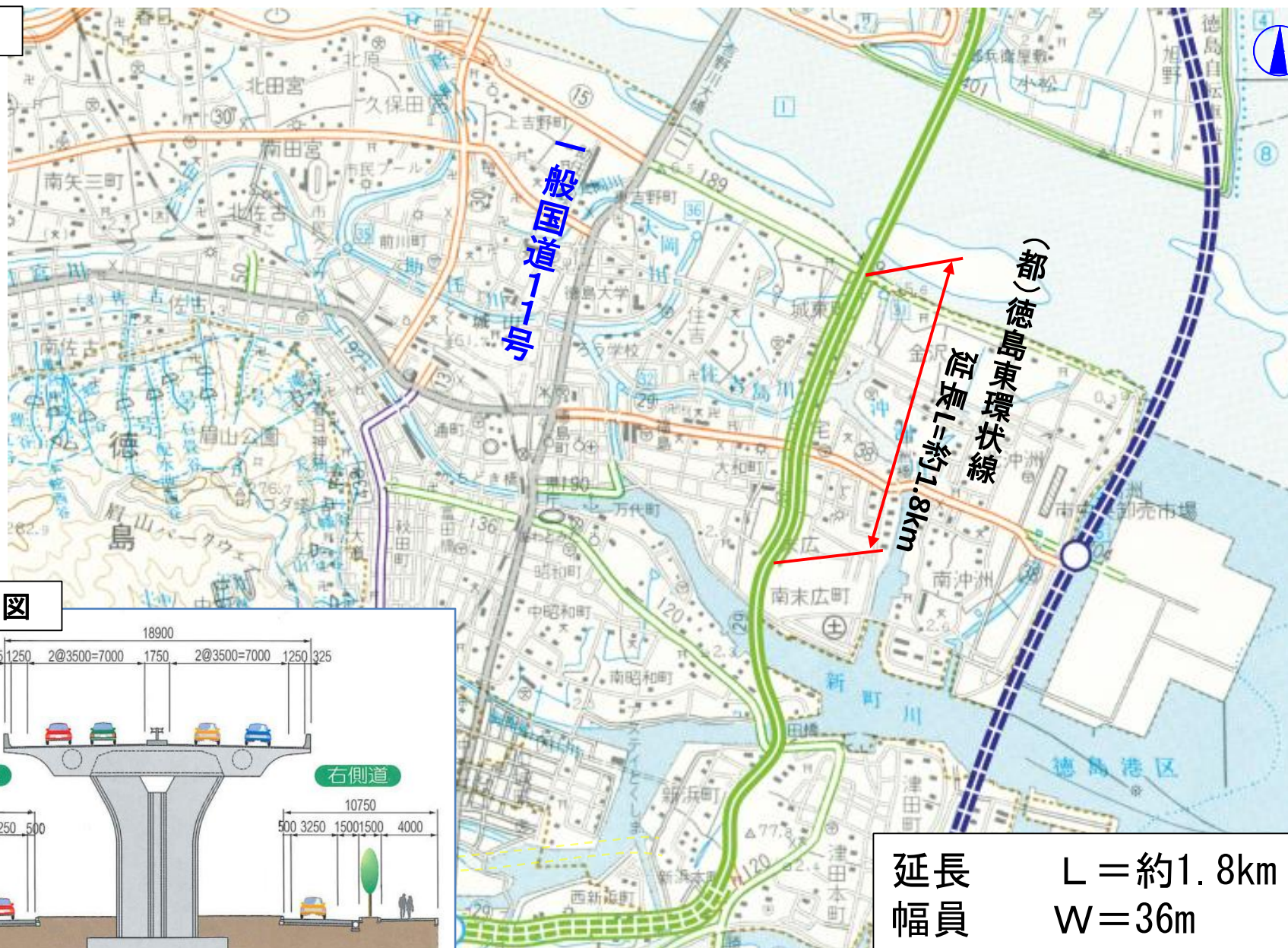


再評価【番号1】

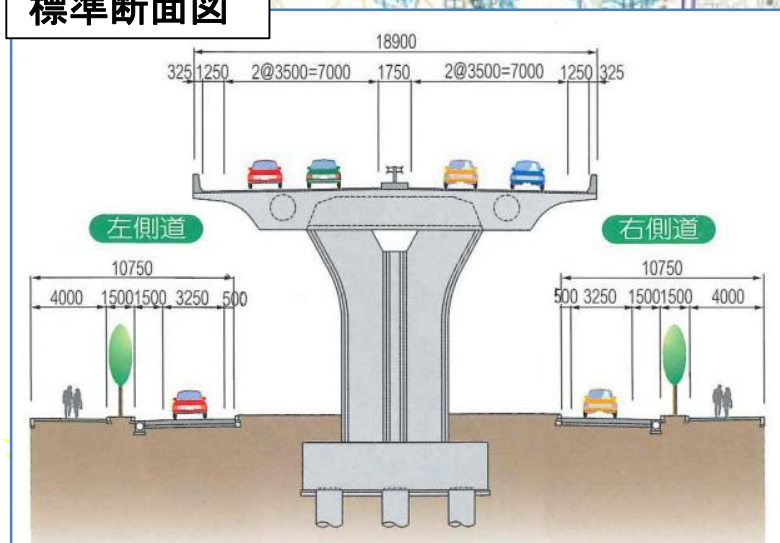
都市計画道路 徳島東環状線

1. 事業概要

平面図



標準断面図

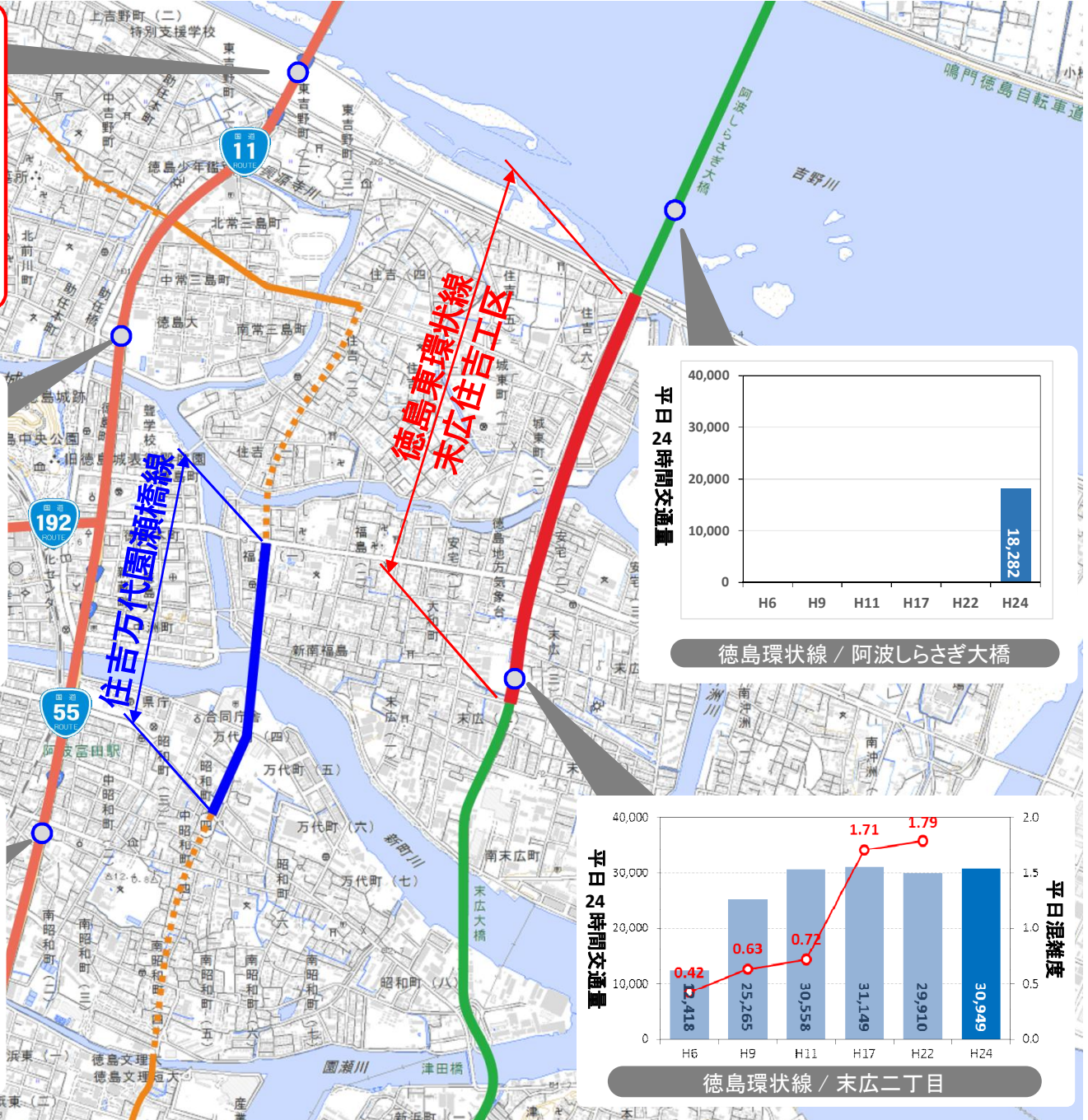
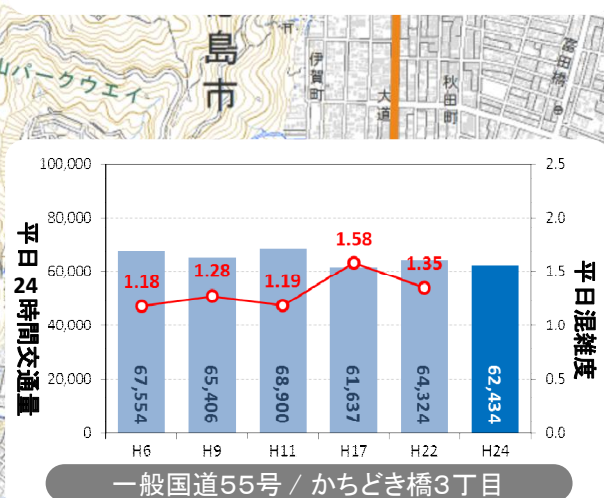
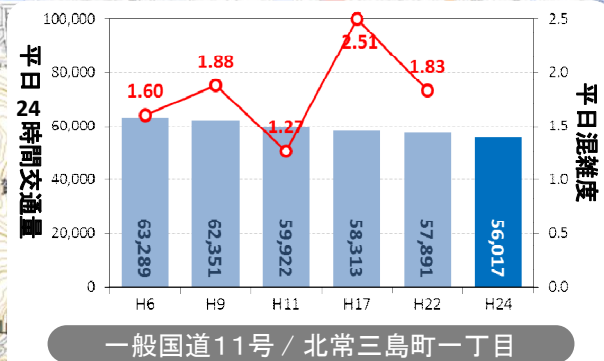
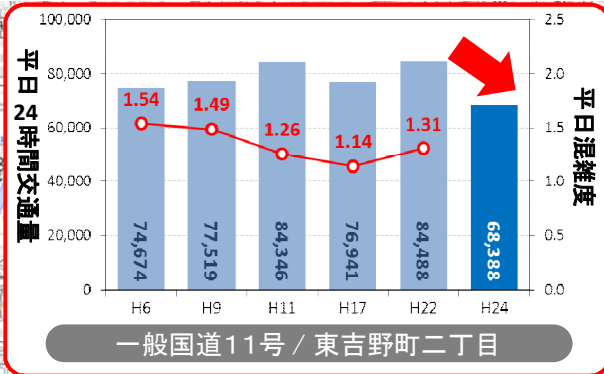


延長	L = 約1.8km
幅員	W = 36m
事業費	C = 490億円

2. 道路交通上の課題



2. 道路交通上の課題



3. 事業の進捗状況(全体)

＜進捗率＞

事業費：82%・用地：100%

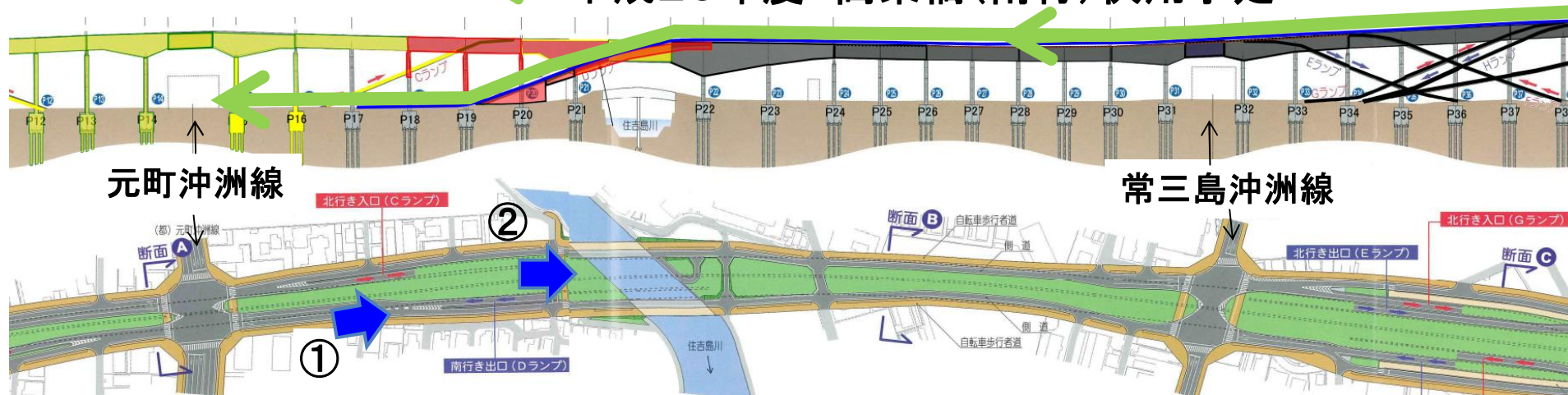


3. 事業の進捗状況(平成26年度供用区間)

至末広大橋

← 平成26年度 高架橋(南行)供用予定

至阿波しらさぎ大橋



凡例

H25まで

H26

H27以降



4. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **613.3億円**
(現在価値化後)

※費用C=589.7億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.0$$

+

その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果
- 計 **57.0億円**
(現在価値化後)
- 23.6億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果
 - ・ 騒音低減効果
- 9.9億円
- 23.5億円

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.1$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

■ 緊急輸送道路の強化

- ⇒ 第2次緊急輸送道路に指定
- ⇒ 高架構造を整備することにより、浸水被害を回避し、発災時でも機能

安全・安心

■ 沿道住民の生活環境の改善

- ⇒ 中心市街地の通過交通と都市内交通を分離し、生活環境を改善
- ⇒ 自歩道の整備により、歩行者自転車の安全性向上

産業振興

■ 物流の集積拠点のアクセス向上

- ⇒ マリンピア沖洲・中央卸売市場へのアクセス性向上

5. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

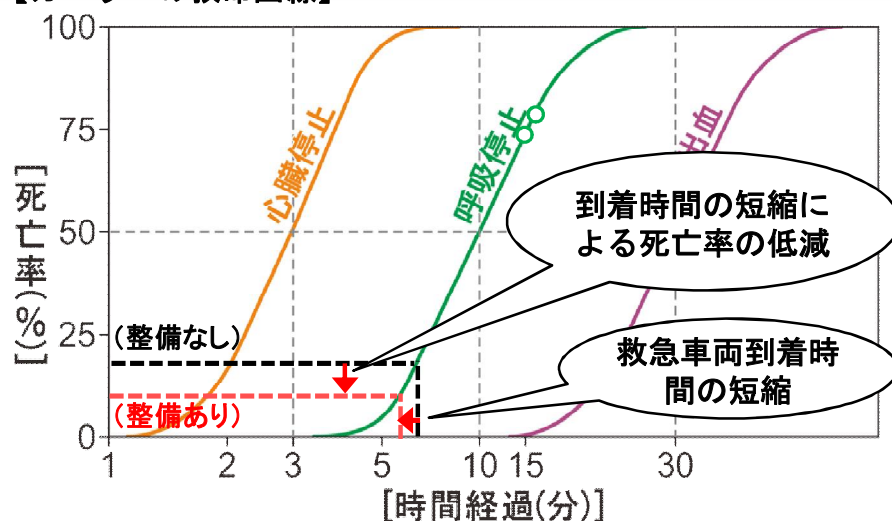
◎その他の便益

医 療

■救急医療へのアクセス向上

- ・徳島市東消防署から集落までの**救急車両到達時間が短縮**されることにより、**救命率の向上**が見込まれる

【カーラーの救命曲線】



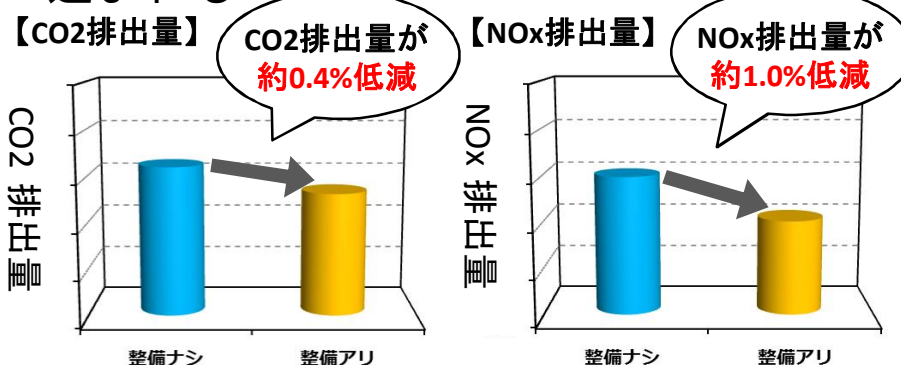
- ・呼吸停止後の死亡率が**約8%低減**

救命率の向上効果 : 23.6億円

環 境

■地球環境の保全効果

- ・**CO₂、NOxの排出量が抑制**されることにより、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる



大気汚染・温暖化防止効果: 9.9億円

■騒音低減効果

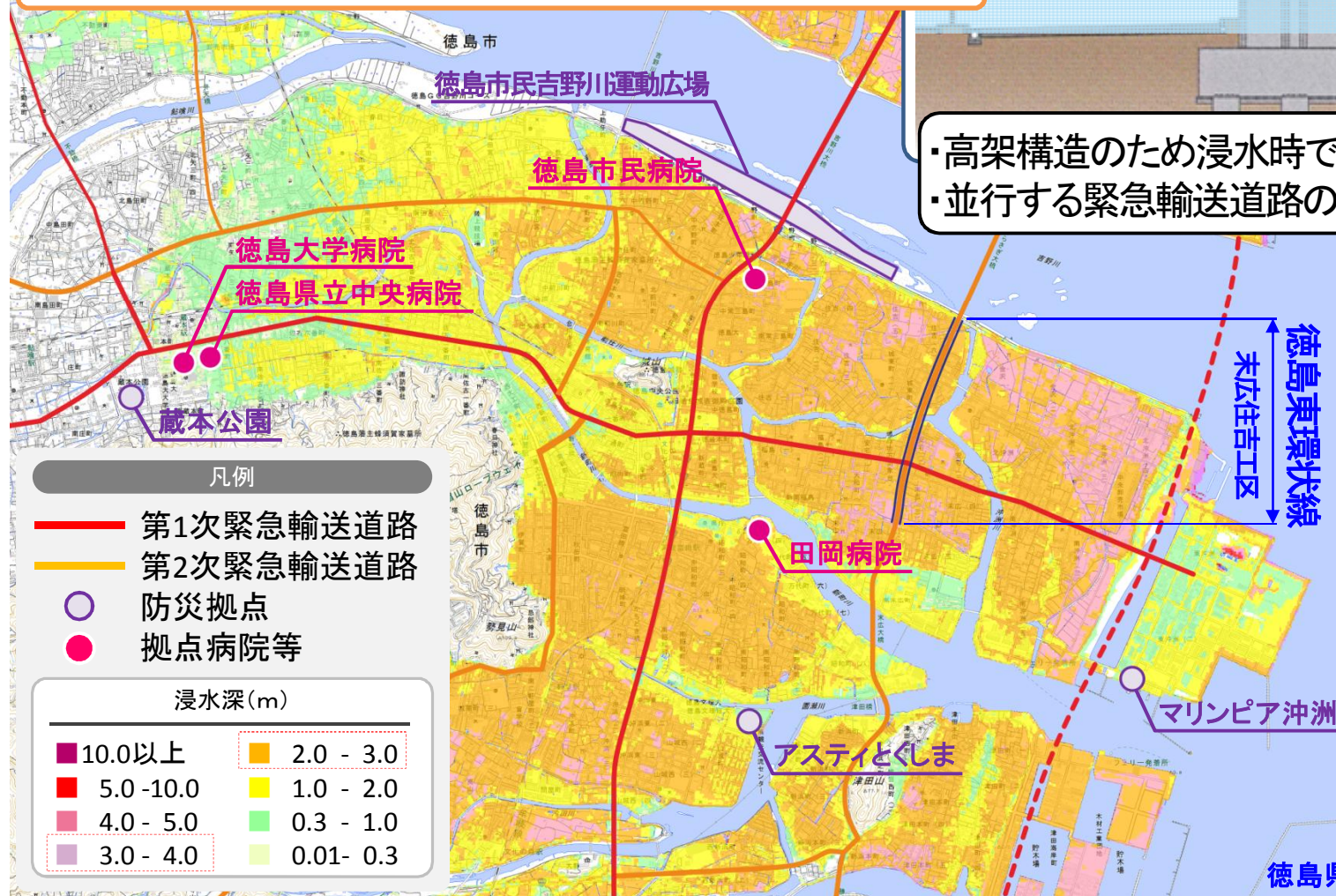
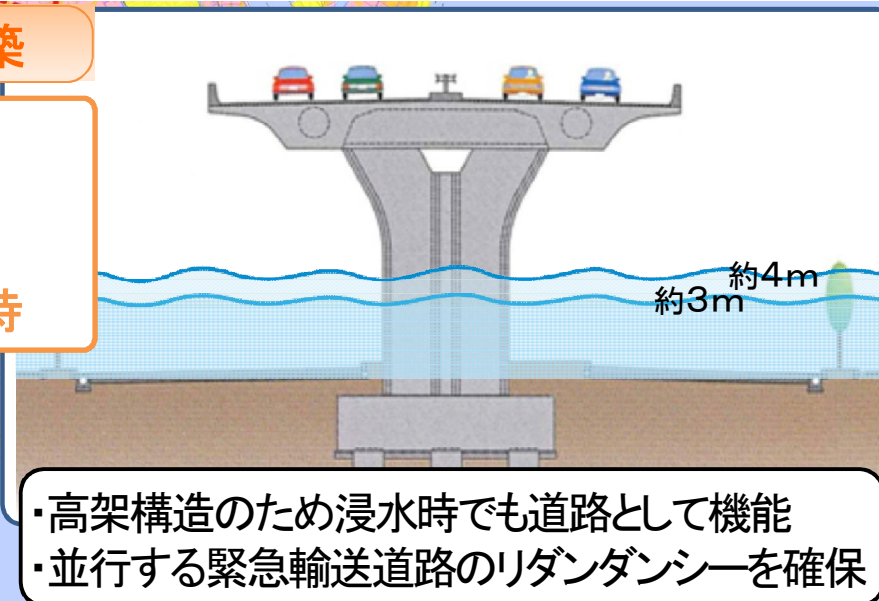
- ・現道の通過交通がバイパスに転換することにより、**現道沿いの騒音の低減効果**が見込まれる。

騒音低減効果: 23.5億円

5. 道路整備による多様な効果②【貨幣価値に表れない整備効果】

【防災・減災】災害に強い道路ネットワークの構築

- ・第2次緊急輸送道路に指定
⇒各種拠点間の連携を強化
- ・高架橋として整備
⇒浸水被害を回避し，発災時でも活用が期待



5. 道路整備による多様な効果③【貨幣価値に表れない整備効果】

【安全・安心】沿道住民の生活環境の改善

○市街地の通過交通と都市内交通を分離

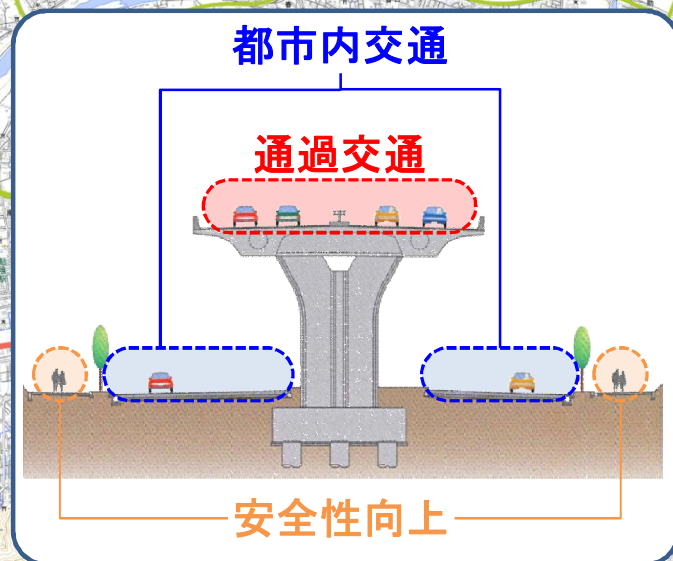
⇒沿道住民の生活環境の改善

○自歩道の整備

⇒歩行者・自転車の安全性向上

【産業振興】物流の集積拠点の効率化

○中央卸売市場等へのアクセス性向上
物流の円滑化・地域産業の活性化による地場産業振興



中央卸売市場

マリンピア
沖洲産業団地

企業数：136社
従業員：4086名

H25.10時点

マリンピア従業員数根拠

<http://www.marinpia.org/>

6. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **613.3億円**
(現在価値化後)

※費用C = **589.7億円** (現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.0$$

+

その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果
- 計 **57.0億円**
(現在価値化後)

23.6億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果
 - ・ 騒音低減効果
- 9.9億円
- 23.5億円

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.1$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

■ 緊急輸送道路の強化

- ⇒ 第2次緊急輸送道路に指定
- ⇒ 高架構造を整備することにより、浸水被害を回避し、発災時でも機能

安全・安心

■ 沿道住民の生活環境の改善

- ⇒ 中心市街地の通過交通と都市内交通を分離し、生活環境を改善
- ⇒ 自歩道の整備により、歩行者自転車の安全性向上

産業振興

■ 物流の集積拠点のアクセス向上

- ⇒ マリンピア沖洲・中央卸売市場へのアクセス性向上

■ 今後の対応方針(案)

事業継続